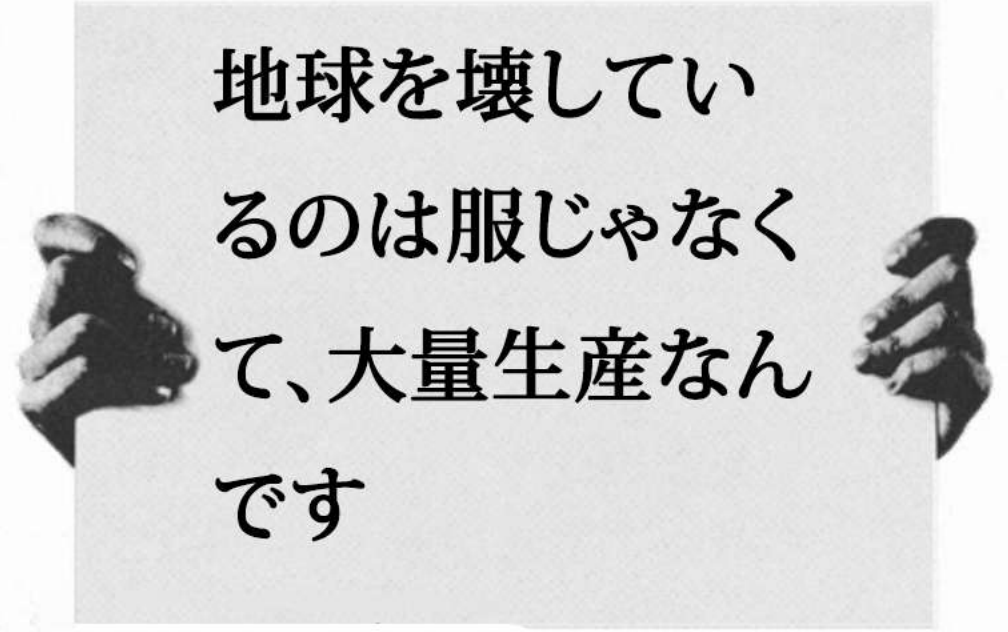




On sustainability
and how to...

CREATE
TOMORROW'S
VINTAGE



つまり、それは私たちが常に見た目を変えたいという欲求——ファッション業界によって作り出された欲求です。

人は自分を「ファッションに振り回される人」と呼びますが、本当の被害者は気候です。より良い変化を生み出すには、「毎週スタイルを変えないこと」をおしゃれにする必要があります。

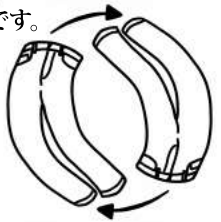
一生着られる服を作ろう。着るたびに、修繕するたびに、美しさが増す服、使い捨てではなく、時を重ねてヴィンテージになる服。

Nudie Jeans がこれから歩む道——それは創業以来ずっと歩んできた道です。明日のヴィンテージを生み出すための旅なのです。



すべてのNudie Jeansには、無料リペアの約束が付いています(日本以外)。いつ、どこで、どのようにに手に入れたものであっても関係ありません。プレミアムジーンズを購入することは一つの投資であり、それを提供する私たちが修理を引き受けるのは当然の責任だと考えています。

リペアだけでなく、回収したジーンズはリサイクルしたり、パッチング材素材として再利用したり、または再利用プログラムを通じてセカンドハンドとして販売したりもしています。こうして、私たちは皆さんと一緒に、さまざまな方法で循環を完成させているのです。



ルールが変わり、時代が動き出した。私たちはあなたに「Re-useプログラム」を贈ります。これは、私たちとあなたとのコラボレーション。あなたがジーンズを育て、私たちがそれを引き取る。次のNudie Jeansを20%オフで手に入れる。私たちは再利用のラインナップを得る。履き込まれたデニムが、新たに販売され、また誰かに愛される。何回も、何回も。

毎週スタイルを変えないことを、おしゃれにしよう

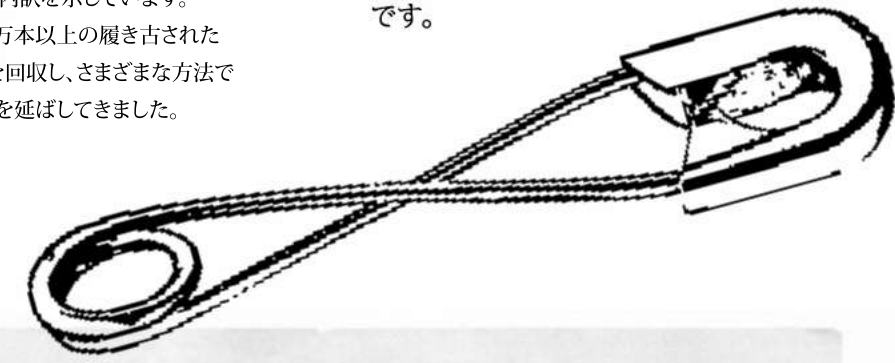
ファッションって、変化が命。でも、正直ちよつと疲れない？
毎年1000億着もの服が作られて、約1億トンの繊維が捨てられてるのに、リサイクルされるのはたったの1%。ブランドが新作を次々に出す様子は、まるで止まらない病氣みたい。*
「今っぽい」を追いかけないように仕向けたのは、ファッション業界。でも、本当に必要なのは鏡を見たときに気づく。「もっと少なく、もっと良いものを作ること」。

*<http://nj.io/elmf>

このチャートは、私たちのサーキュラー・ソリューションの内訳を示しています。これまでに10万本以上の履き古されたNudie Jeansを回収し、さまざまな方法でデニムの寿命を延ばしてきました。



「More like a diary, less like a dairy.」服は牛乳みたいに賞味期限なんてない。私たちが作るのは、一生着られる服。そして、世代を越えて受け継がれる家宝のような存在。私たちのジーンズは、単なる衣服ではなく、歴史・記憶・想いを継承するためのものです。

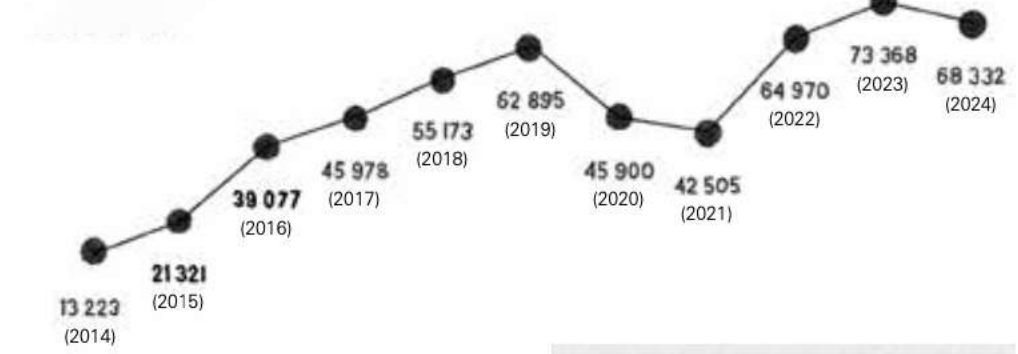


でも、修理については何度も語ってきました。計画開始以来、私たちは50万本以上のNudie Jeansを修理してきました。

それは確かに大きな数字かもしれませんが、業界全体に必要なつぎはぎに比べれば、ほんの一粒の塵のようなものです。

+500.000

これは、私たちが最初のリペアショップをオープンして以来、修理してきたNudie Jeansの本数です。



21.000

Nudie Jeansに“第二の人生”を。そして第三の人生、第四の人生も——。最初のリペアショップを開設してから、10万本以上の履き古されたジーンズを回収し、25,000本のリユースジーンズを販売しました。



ファッションの大量生産被害者は地球だ。

私たちは、“排出ゼロ”を目指す使命に、本気で取り組んでいます。見た目はちよつとレトロで、ヒッピーっぽく見えるかもしれませんが、それだけじゃない。私たちは、利益か人か、製造か環境か、どちらかを犠牲にする必要はないと考えています。そして地球の気温が上昇し続ける今、テキスタイル業界のすべてのプレイヤーが行動を始めるべきときです。気候変動に対しては、美辞麗句では足りません。私たちが重視しているのは、本当の変化へとつながる道筋とリアルなデータです。2018年から、私たちは事業全体の排出量を可視化し、信頼性の高いデータを収集してきました。温室効果ガスプロトコルに基づき、すべての一次データは現場から直接得られたもの。だからこそ、「リアル」なのです。

感覚のない世界で、感覚を見つける

「すべての良いものには終わりがある」とよく言うけれど、私たちには「死がふたりを分かつまで」なんて言葉は通じません。なぜなら、デニムは永遠に生き続けるものだから。ヴィンテージという舞台の幕が下りたとしても、ショーは終わらない。デニムにはいつだって、次の物語が宿っている。修理のパッチとして、あるいはリサイクルされた繊維として、Nudie Jeansの新たな一着に生まれ変わるのです。たとえば昨年(2024年)だけでも、皆さんの協力によって20,000本ものNudie Jeansが循環に戻ってきました。それぞれのかたちで「明日のヴィンテージ」として、また旅を始めていることです。

FOLLOWING FASHION TRENDS IS SOO LAST YEAR



Nudie Jeans co